

## 地域保健医療推進業務委託仕様書

### 1 目的

地域医療構想（以下「構想」という。）について、地域の関係者からなる地域医療構想調整会議（以下「調整会議」という。）を開催し、構想（保健医療計画）を推進する。

次期「保健医療計画の地域計画」・「高齢者プランの圏域版」の策定に必要な協議・検討により素案を作成するとともに、両計画と市町が策定する介護保険事業計画との整合性を図るための関係者による協議を行う。

### 2 委託業務の内容

#### (1) 地域医療構想調整会議の運営

調整会議を開催し、協議内容に係る意見等を取りまとめ、別記様式5号により報告する。

#### (2) 次期「保健医療計画の地域計画」・「高齢者プランの圏域版」の素案作成

##### ① 保健医療計画の地域計画

広島県医療審議会保健医療計画部会、広島県地域保健対策協議会の専門委員会等における議論を踏まえながら協議・検討し、別紙作成要領により提出する。

協議・検討に際しては、現行の「保健医療計画 地域計画」の進捗状況や今年度の達成見込等について評価等を行い、課題、目標及び取組について検討すること。

なお、上記会議の資料等については、適宜、提供する。

##### ② 高齢者プランの圏域版

医療と介護の緊密な連携やサービス提供体制の確保など、広域的な対応が必要となる事項として、平成28年度に検討・決定した「圏域検討事項」について、高齢者対策総合推進会議における議論を踏まえながら、対応策や具体的な実施方法について協議・検討し、検討内容を別記様式第6号により報告する。

なお、上記会議の資料等については、適宜、提供する。

##### ③ 両計画と市町が策定する介護保険事業計画との整合性を図るための協議

保健医療計画、高齢者プラン（介護保険事業支援計画）及び介護保険事業計画の整合性を図るため、在宅医療の整備目標と介護サービス必要量について、市町及びサービス事業者等と協議を行い、協議内容を別記様式第7号により報告する。

### 3 実績報告

業務実施により、その実績について、次表のとおり報告書を作成し、紙媒体1部と電子媒体1式を提出する。

区 分	報告又は提出期日
(1) 地域医療構想調整会議の運営	会議翌日から14日以内
(2) 次期計画策定に向けた検討	
① 保健医療計画の地域計画（素案）	平成29年10月31日
② 高齢者プランの圏域版（素案）	平成29年10月31日
③ 保健医療計画及び高齢者プランと介護保険事業計画との整合性を協議	会議翌日から14日以内

## 地域保健医療計画(素案)作成要領

### 1 計画の書式等

- 文体は、いわゆる「ます体」とする。
- 箇条書きを基本とし、簡潔で分かりやすい表現とすること。また、図、表、グラフ等を効果的に使用すること。
- 基本書式は別紙のとおり。

### 2 記載項目

表紙

目次

第1節 概況

第2節 安心を支える保健医療体制

1 疾病・事業別の医療連携体制の構築

- ①がん
- ②脳卒中
- ③心筋梗塞等の心血管疾患
- ④糖尿病
- ⑤精神疾患
- ⑥救急医療
- ⑦災害時における医療
- ⑧へき地の医療
- ⑨周産期医療
- ⑩小児医療
- ⑪在宅医療

現状分析等に基づいて検討した結果、地域で特段の対策を要しない疾病・事業等については記載しないことも可。

2 保健医療対策の推進

- (例)○歯科保健対策
- 医薬品等の適正使用対策
  - 医療の情報化
  - 保健医療従事者の確保・育成

1 ①～⑪以外の分野で、対策として掲げるものがない場合は項目立てしなくてもよい。

第3節 地域医療構想の取組

第4節 計画の推進

→ 進行管理を行う組織・時期等について記載。

第5節 地域の先進的な取組（任意）

※安心を支える保健医療体制の記載内容

項目	記載内容
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題をコンパクトにまとめる。</li> <li>※ 現状の取組の評価も記載する。</li> <li>・現状や傾向を示す図・表・グラフ等を効果的に使用</li> </ul>
目指す姿（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年後又は6年後に評価できる目標を記載する。</li> <li>（圏域ごとの数値目標は、必須としない。）</li> </ul>
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の項目ごとに表形式で整理する。</li> <li>・項目名は、施策の内容を的確・簡潔に表す名称とする。</li> <li>・5年間の計画期間を念頭に、地域における各主体の役割分担を踏まえた、具体的な施策の方向性を記載する。</li> </ul>

## 〇〇二次保健医療圏

### 書式の設定 (Microsoft Word の場合)

【用紙】 A4 縦 横書き

【余白】 上 25mm 下 25mm 左 25mm 右 25mm

### 【文字数と行数】

#### フォントの設定

- ・ **フォント** 本文 MS 明朝 (英数字はMSP明朝等の他フォントも可)  
表題・見出し MS ゴシック
- ・ **サイズ** 10 ポイント (表紙 20 ポイント/図・表 9 ポイント 等)

#### 文字数等 「文字数と行数を指定する」に設定

- ・ **文字数** 45 文字
- ・ **行数** 40 行

※ 図, 表, グラフ等は, 章ごとに連番を取り, 表題 (タイトル) を付ける。

(例) 第 2 章 : 図表 2-1 〇〇の推移, 図表 2-2 〇〇の体制

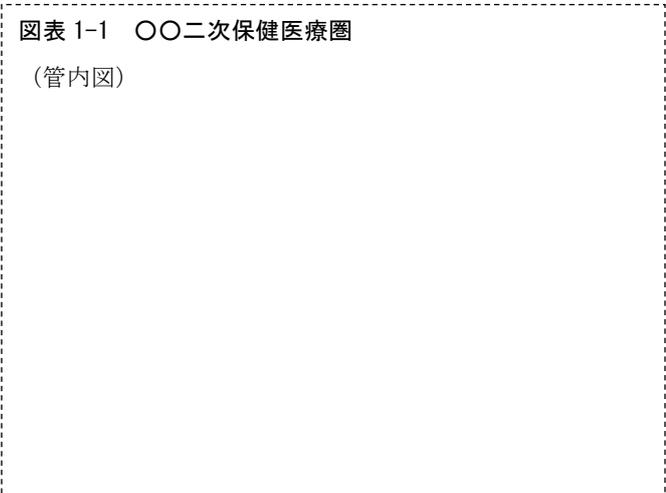
第 3 章 : 図表 3-1 〇〇の状況

## 目 次

第1節 概況 .....	1
第2節 安心を支える保健医療体制	
1 疾病・事業別の医療連携体制の構築 .....	
①がん対策 .....	
②脳卒中对策 .....	
③心筋梗塞等の心血管疾患対策 .....	
④糖尿病対策 .....	
⑤精神疾患対策 .....	
⑥救急医療対策 .....	
⑦災害時における医療対策 .....	
⑧へき地の医療対策 .....	
⑨周産期医療対策 .....	
⑩小児医療対策 .....	
⑪在宅医療対策 .....	
2 保健医療対策の推進	
①〇〇対策 .....	
②〇〇対策 .....	
第3節 地域医療構想の取組 .....	
第4節 計画の推進 .....	
第5節 地域の先進的な取組 .....	

第 1 節 概況

- .....  
.....  
.....。
- .....  
.....。
- .....  
.....。
- .....  
.....  
.....。



## 第2節 安心を支える保健医療体制

### 1 疾病・事業別の医療連携体制の構築

#### ①がん対策

##### 【現状と課題】

##### (1) ○○の状況

- .....  
.....。

##### (2) ○○の体制

- .....  
.....。

図表 2-1 タイトル  
(グラフ・図・表等)

##### 【目標】

- .....に増加させます。
- .....を短縮します。

##### 【施策の方向】

項目	内容
.....	<ul style="list-style-type: none"><li>○ .....に努めます。</li><li>○ .....を実施します。</li></ul>

### 2 保健医療対策の推進

#### ①○○対策

##### 【現状と課題】

- .....  
.....。

##### 【施策の方向】

項目	内容

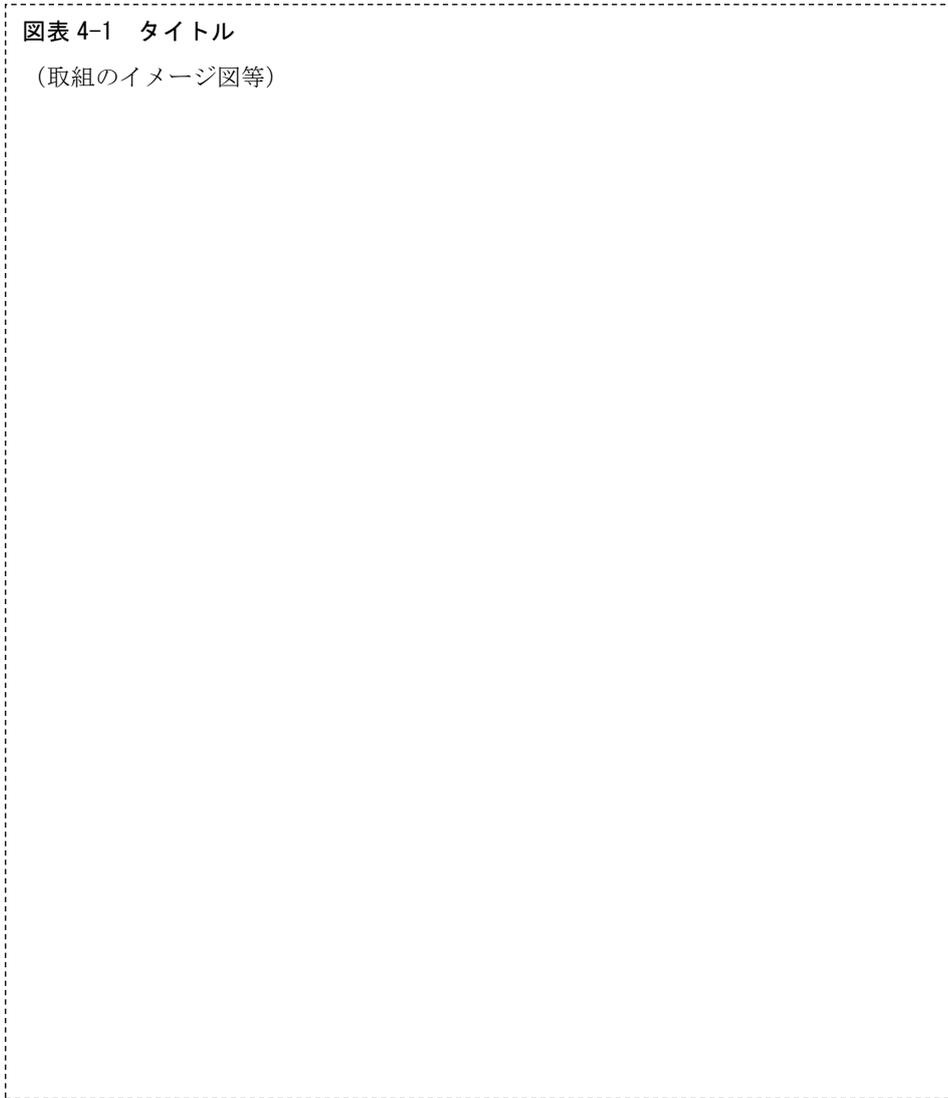
### 第3節 計画の推進

- .....  
.....。
- .....  
.....  
.....。

### 第4節 地域の先進的な取組

- .....  
.....。
- .....  
.....  
.....。

図表 4-1 タイトル  
(取組のイメージ図等)



## 第〇章 各圏域における広域的課題と支援

圏域地域保健対策協議会において、圏域内や医療・介護の関係機関・団体が連携して取り組む必要がある事項を絞り込み、対応策を検討した。

といった趣旨の文章を医療介護計画課で作文

〇〇圏域（※各圏域の共通状況は、県全体の記載の中に載せるため再掲しない。各圏域3～4ページ

程度を想定している。）

◇今後の取組事項を決定した理由

◇【〇〇圏域の検討事項】

◇【現状】

検討事項に関する圏域の現状について記載してください。

◇【課題】

◇【目指す姿（目標）】

◇【今後の取組】

検討の結果、取り組むことが決まった施策について記載してください。

ひろしま高齢者プランに係る圏域における検討について  
(平成28年度報告)

呉地域保健対策協議会

検討事項	現状・課題	対応策を検討する課題
<p>在宅医療・介護連携推進事業の円滑な実施</p>	<p>(共通する現状と課題)</p> <p>呉市、江田島市とも、現時点では、本人・家族が在宅生活を希望すれば、おおむね実現可能であり、医療・介護等のサービス供給面で大きなネックは見当たらない。</p> <p>反面、在宅生活の実態等の理解が乏しく、在宅医療・介護の需要が伸びていないことが、現時点での大きな課題である。</p> <p>上記を含めて、在宅生活の課題等が十分に把握されているとは言えない。</p> <p>また、在宅医療・介護連携推進事業についても、両市とも、市全域での具体的な事業実施については未定部分が多い。</p> <p>両市及び呉地域保健対策協議会との間での情報共有等についても、十分に行われているとは言えない状況である。</p>	<p>○在宅医療・介護連携推進事業の(ア)から(ク)までの各事業項目についての現状を確認し、課題や推進方策について協議検討する。</p> <p>○特に、圏域全体での取組が効果的と思われる事項については、地域保健対策協議会での事業実施等も含めて検討する。</p>
<p>(決定の理由)</p> <p>在宅医療・介護連携推進策は、地域保健医療計画推進の大きな課題であること、地域の保健医療関係者を網羅している地域保健対策協議会での協議が効果的であることから、検討事項として選定することとした。</p>	<p>(圏域市町の現状)</p> <p>呉市は、広島大学大学院医歯薬保健学研究院に安芸灘地域をモデル地域として、次の事業を委託している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 住民用・医療介護関係者用の資源マップ更新・作成</li> <li>② 在宅医療・在宅介護連携推進会議の開催</li> <li>③ 保健・医療・介護・福祉ニーズ調査の実施</li> <li>④ 在宅医療・介護連携推進員の配置</li> <li>⑤ 在宅医療・在宅介護に関する研修の開催</li> <li>⑥ ACPの補完版の作成</li> </ol> <p>江田島市は、地域の医療・介護関係者等で構成する「江田島市地域保健対策協議会『医療・介護専門部会』」を平成29年度に再編成し検討を進めていく。</p>	